

導入事例

キャッシュレスチャージでアンカー様の多様な働き方にフィットした報酬の支払いを実現。



株式会社セルフフィット
DIAq (ダイヤク)



報酬の支払いをキャッシュレス化！企業からの支払いをユーザーの好きな決済手段で受け取れる「マルチバリューチャージサービス」

「マルチバリューチャージサービス」は、報酬、返金、経費精算、リユース買取金などの企業から個人への支払いに、お客様が希望するコード決済・電子マネーなどのキャッシュレス決済手段で受け取ることができる日本初のサービス。2021年5月より、シェアリングエコノミー配送アプリ「DIAq」のアンカー（配達員）の報酬の受け取り方法である「キャッシュレスチャージ」に、マルチバリューチャージサービスを導入いただきました。



導入企業	株式会社セルフフィット
業種／事業内容	DIAq (ダイヤク) いますぐ荷物を届けたい人が、近くにいるドライバー、ライダー、メッセンジャーを探して配達を依頼するスマートフォンのアプリ
課題	<ul style="list-style-type: none">・報酬の受け取り方法やタイミングが重要であると感じていた・月1回の銀行振込のみではアンカーの要望に答えられていなかった・登録された銀行名や口座番号の確認作業が負担になっていた
導入効果	<ul style="list-style-type: none">・最短翌日・好きなタイミングでの出金ができるようになった・休眠化していたアンカーの稼働へつながった・銀行振込の件数が減少し、確認作業の負担が減った
導入サービス	マルチバリューチャージサービス

ギグワーカーにとっては報酬の受け取り方やタイミングが重要

導入を検討するきっかけとなった課題はどのようなものでしょうか？

以前より、ギグワーカーの方が私たちのようなプラットフォームを選ぶ上では、報酬の受け取り方やタイミングが重要なポイントになると考えていました。

DIAqでは、2017年のサービス開始時から月1回の銀行振込のみに対応していましたが、アンカー様たちの多様な働き方にフィットしているとは言えず、「ある程度報酬を貯めてから受け取りたい」「なるべく早く報酬を受け取りたい」といったご要望をいただくこともありました。

また、アプリ上でご登録いただく銀行名や口座番号などの入力不備が多く、毎日10~15分ほど要する確認作業も担当者の負担になっていました。



複数の受取手段を同時に導入できるところが魅力

マルチバリューチャージサービスを知ったきっかけと、検討を進めていただけた理由を教えてください。

LINE Pay

ATM受取

Edy

amazonギフト券

マルチバリューチャージサービス」対応決済手段のうちセルフフィット様でご導入いただいている決済手段

LINE Pay | ATM受取
EdyギフトID | Amazonギフト券

所属している協会主催のイベントでご担当者様とお会いし、その後の情報交換のなかでマルチバリューチャージサービスをご紹介いただきました。

元々、キャッシュレスでの受け取り方法を追加する際には、同時に複数の手段を導入したいと考えていました。各キャッシュレス決済事業者とそれぞれ直接やり取りをするよりも作業時間や費用が軽減され、将来的に他のサービスを追加する際の拡張性も高まると感じたため、導入の検討を進めました。

※「EdyギフトID」は、楽天Edy株式会社との発行許諾契約により、株式会社NTTカードソリューションが発行する電子マネーギフトサービスです。
※「楽天Edy（ラクテンエディ）」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。
※Amazon、Amazon.co.jp およびそれらのロゴは Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

サービスの導入により最短翌日・好きなタイミングでの出金が可能に

導入後の効果と、今後の展開について教えてください。

マルチバリューチャージサービスの導入により、最短翌日・好きなタイミングでの出金が可能になりました。その影響なのか、休眠化していたアンカー様が稼働したケースもあります。また、銀行振込の件数が減少し、担当者の作業負担も軽減できました。今後は、まずは利用できるキャッシュレス決済手段を増やしていきたいと考えています。また、現状は銀行振込も選べるようになっていますが、将来的にはキャッシュレスチャージのみで完結できる体制を整えられると嬉しいです。



記載されている内容は導入当時のもので、本リーフレット閲覧時点では変更されている可能性があることをご了承ください。2025年6月作成Ver1.1



サービスの詳細はこちら <https://www.nekonet.co.jp/lp/multivaluecharge/index.html>